

## アジア・オセアニアにおけるガーデンシティ構想とグリーンベルト構想の系譜

### Genealogy of the Garden City Concept and Green Belt Concept in Asia and Oceania

山本 佳世子<sup>1\*</sup>

Kayoko Yamamoto<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>電気通信大学

<sup>1</sup>University of Electro-Communications

#### 1. 序論

アジア諸国の多くの大都市は、欧米諸国や北米諸国の都市と比べると、著しく高密度である。特に日本の大都市圏では緑地不足がたいへん深刻であり、このことが土地利用問題だけではなく、都市環境の質の低下にもつながっている。緑地は、環境保全機能以外にも、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能など多様な機能を持っていることから、都市地域の最も重要な構成要素の一つである。さらに日本では、1995年に発生した阪神・淡路大震災以降は、高密度都市の危険性が認識され、緑地を基盤とした防災都市づくりの必要性も強く提案されている。緑地を基盤とした都市計画は全く新しい考え方ではなく、17、18世紀のヨーロッパに起源を持っており、19世紀には近代的都市公園が誕生していた。そして近年の都市整備においては、緑地は必要不可欠な要素となっている。また都市・地域計画分野における緑地整備に関する先行研究のうちでは、特にイギリスやアメリカの事例を対象とした研究蓄積がたいへん多いが、アジア地域の事例や世界各地の緑地整備の歴史や相互の関連性についての研究事例はこれまでにあまりみられなかった。そこで本研究は、これらの諸点を踏まえて、アジア諸国およびオセアニア諸国の大都市を対象として、緑地分布に関する特性を把握し、緑地を基盤とした都市整備の事例について比較を行ったうえでその系譜をまとめ、緑地を基盤とした都市整備の動向と今後の方向性について展望することを目的とする。

#### 2. 研究の枠組みと方法

本研究ではまず、アジア諸国の代表的な大都市を研究対象都市として選定する。次に文献調査および現地調査の成果にもとづき、研究対象都市の緑地整備に関する特性を把握する。これを踏まえて、アジア諸国の大都市における代表的な緑地整備の事例として、日本の東京と大韓民国のソウルにおけるグリーンベルト構想、都市国家シンガポールとマレーシアのクアラルンプールにおけるガーデンシティ構想、中華人民共和国の国家戦略としての緑地整備構想、オーストラリアのメルボルンとニュージーランドのクライストチャーチの植民都市におけるガーデンシティ構想を取り上げ、文献調査および現地調査に加えて、行政担当部局等へのヒアリング調査の成果にもとづき、これらの特性を示す。さらにアジア諸国、アジア諸国に影響を与えた欧米諸国における緑地整備の系譜をまとめたうえで、緑地整備による都市づくりの動向と今後の方向性について展望する。

#### 3. 結論と今後の研究課題

本研究の結論は、以下の4点に要約することができる。

(1) 1930年代後半の日本と1970年代初頭の大韓民国、1950年代後半の中華人民共和国の北京においてグリーンベルト構想の実現が目指されたが、日本では1968年にグリーンベルトが市街化調整区域に収束し、大韓民国では近年では段階的なグリーンベルトの解除が行われている。し

かし北京ではグリーンベルトの整備が難航していたが、1990年代半ばからはグリーンベルトに関する詳細計画が策定され、北京市政府による政策的推進が積極的に行われている。

(2) オーストラリアとニュージーランドでは、エビニザー・ハワードの田園都市の概念にも続き、植民都市が建設されていた。メルボルンでは1830年代初頭からダーリング・グリッド・システムによって中心部が開発されているが、たいへん大規模な緑地が郊外に点在している。ニュージーランドでは、オーストラリアのアデレイドのパークランドの影響により、パーク・グリーン・ベルト（タウン・ベルト）が1840年代に導入された。クライストチャーチでは、中心部のキャピタル・タウンはタウンベルトを構成する道路によって取り囲まれている。

(3) シンガポールでは、1960年代後半の独立後の急速な都市化と開発の進行に対応し、都市全体での緑化や公園緑地の整備に重点を置いた都市緑化施策を推進するためにガーデンシティ構想が推進された。北京もシンガポールをモデルとしたガーデンシティの建設を推進し、上海はグリーンシティの建設を目指している。クアラルンプールでは、人造湖と広大な緑地が整備されたレイク・ガーデンがあり、人造湖に浮かぶガーデンシティとしての新行政都市の建設を目指している。

(4) 本研究及び先行研究の成果から、緑地を基盤とした都市整備には、広域都市圏論の成立、ガーデンシティ構想から環境共生都市論の誕生という2つの大きな方向性があることが明らかになった。特に後者の環境共生都市は、環境配慮型都市であるサスティナブル・シティやコンパクト・シティともほぼ同様な意味を持っている。

キーワード: ガーデンシティ, グリーンベルト, グリーンシティ, 緑地整備, アジア・オセアニアの大都市

Keywords: Garden City, Green Belt, Green City, Green Space Development, Major Asian and Oceanic Cities